



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 2年 4月 13日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 とみやま助け合い隊

所在地

連絡先

フリガナ リジちよう こぼし いちろう
代表者役職・氏名 理事長 小橋 一郎

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="checkbox"/> ア 地域課題解決 <input type="checkbox"/> イ 地域課題掘り起し <input type="checkbox"/> ウ 地域計画づくり <input type="checkbox"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="checkbox"/> オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>とみやま助け合い隊</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>富山小学校区</p>
<p>① 事業実施内容</p>	<p>※実施事業の概要 学区住民が抱える日常生活上の困り事の解決を支援する</p> <pre> graph TD A[困りごと支援・依頼者] -- ① --> B[コーディネーター 080-3051-0111] B -- ② --> C[サポーター (事前登録済み)] C -- ③ --> A C -- ④ --> A C -- ⑤ --> B </pre> <p>① 困りごと支援依頼者 → コーディネーターにTEL ② コーディネーター → サポーターを斡旋 ③ サポーター → 支援を実施 ④ 依頼者 → サポート料を支払う ⑤ サポーター → 支援の終了を報告 (内容・時間・料金等)</p> <p>★ 特殊な技術を要するもの、危険を伴う作業は対象外 ★ 有料・基本料金30分まで300円、以後10分増すごとに100円追加 (一人に付き) ★ 屋内作業・原則2人体制で行う。</p> <p>※添付 「とみやま助け合い活動ニュース」第1号を参照願います。</p>
<p>② 解決を目指した課題</p>	<p>高齢化の進捗にともなって、高齢者のみ世帯や独居高齢者世帯が増えている。一方、若い世代では共働きがあたり前となっている。こうした状況の中、住民は老若を問わず家事や子育て等、日常生活において各種の困りごとを抱えている。</p> <p>「いつまでも住み慣れたこの町で末永く暮らす」ためには、これらの困りごとを手軽に解決するシステムの構築が不可欠ではないか。</p>

③ 目的・目標の達成状況

地域課題（住民が抱える日常生活での困りごと解決）の達成状況

1. 達成状況（3月末過去1年の実績）

サポートの実績 合計 153件 サポーター登録 46名

★サポートの種類

- ・付添（病院・買い物）55件
- ・庭の手入れ（草取り・剪定）38件
- ・買い物代行 27件
- ・掃除・片付け 10件
- ・ゴミ出し 7件
- ・修理 5件
- ・PC操作 3件
- ・大型ゴミ処分 2件
- ・洋服リフォーム 2件
- ・その他（町内宛配布作業準備他）4件

★リピーター

- ・病院への付添、買い物代行など同一人で20件以上利用したリピーターもいる。

2. 実施による新たな効果（新たなまちづくりに向けての第一歩）

依頼者から「サポーターさんに、とてもよくしていただいた」とか、住民から「このようなシステムを作ってもらって良かった。」などの電話が、事務局に寄せられることもあった。

これらから、「こまりごと解決のシステム」として地域内に受け入れられ・定着しつつあるのではないかと判断している。

④ 企画等の工夫と情報公開

※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知・広報の取組とその評価

①工夫 最初から、「まちづくり」の柱として構想した。

例えば、システム構築に当たってアンケート（「富山地区包括ケアシステムの構築について」を実施（平成29年7月）、住民のニーズやサポーターとしての協力見込みを把握した。

また、「富山学区 第1次地域福祉活動計画（2018年度～2020年度）」に織り込んだ。さらに、ケアマネージャー等専門職にも、当隊のPRと利用勧奨を要請した。

②広報 当システムの定着は、広報が肝要と認識し、あらゆる機会を利用した。

例えば、下記については全てチラシを作成、町内会ルートで回覧を実施するとともに、町内会長会議ほか学区内主要団体等の会議で、説明した。

また、「とみやま文化まつり」では、ポスター展示を行った。

- ・アンケート集計結果のフィードバック（30年9月）
- ・システム構築の方針表明（30年9月）
- ・助け合い隊発足、システム概要の開示（平成30年4月）
- ・サポーター募集、説明会開催（平成30年6月、7月）
- ・テストラン開始（平成30年10月）
- ・本格運用開始（平成31年1月）

③令和元年度の広報

- ・マグネットシートの作成、配布（全戸）
気軽に当隊を活用してもらおうべく、作成（当隊の電話番号や受付時間を記載）。全戸に配布した。（令和元年8月）
- ・「とみやま助け合い隊活動ニュース」（第1号）発行、全戸配布した。（2月）
- ・サポーター研修会の開催（2回） 令和元年6月27日
6月30日
モラルの向上も兼ねて開催、システム概要や主旨、グッズの使用方法、サポートの状況等につき認識を共有した。

④運営 下記会議の出席者には、当隊の現状等につき、各自の関係先にPRしてもらっている。

- ・コーディネーター会議
コーディネーター間で情報の共有化を図り、課題を発掘する。
- ・理事会開催（隔月・偶数月。小地域ケア会議を兼ねる）
当隊の利用状況や課題について討議した。
- ・支援依頼を全件記録している
不断にシステムの改善を図るには、記録が欠かせない。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">⑤ 次年度計画</p>	<p>※次年度に引き継ぐ課題、次年度計画の概要</p> <p>①サポート件数 200件 ・サポートの種類を広げる。例：サポートメニューを逆提示する。 ・依頼者の発掘。 マネージャー等専門職への利用勧奨を働きかける。 各種団体にも活用を呼び掛ける。</p> <p>②サポーター登録 70名（現在46名）→サポーターの偏在を解消する。 既登録サポーターや各種団体に紹介を依頼する。</p> <p>③活動ニュース 2回発行 地域住民への広報の柱とする。取材励行に努める。</p> <p>④財性基盤の強化 決算の公開 特別会員確保 5名 広告募集（とみやま助け合い隊活動ニュース、2枠×10,000円＝20,000円）</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">⑥ 事業実施者の評価・感想審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<p>※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、についての自己評価</p> <p>1. 持続可能な地域づくり、課題解決力 「いつまでも住み慣れたこのまちで末永く暮らす」に向けて、第1歩を踏み出せたのではないかと考えている。</p> <p>2. 地域づくりを担う人づくり 人は、本来「やさしさ」「素直さ」を持っている。当隊のサポートは、「やさしさ」の実践であり、感謝は「素直さ」の表現である。いわばこのシステムは、住民に「やさしさ」や「素直さ」の表現機会を提供している。サポーターであろうが、支援依頼者であろうが、当システムに関わる住民たちは、すべて『「やさしさ」や「素直さ」が随所で見られる、そのようなまち』作りの担い手でもある。まちは、そこに住む人たちがつくる。</p> <p>○事業決定時での審査会意見とそれに対する対応は、以下のとおり。</p> <p>①課題等の改善に努めてほしい。 サポートの全件を記録、そこから課題を発掘・整理の上、コーディネーター会議（原則、毎月）や理事会（隔月）で対応を協議している。</p> <p>②サポートの内容を具体的に知りたい。 草取りや付添い等。上記「目的・目標の達成状況」欄を参照願います。</p> <p>③サポーターの人選基準があいまい。 サポーターの人選については、特技だけでなく人柄の見極めが欠かせない。 以後、サポーター登録に際しては、既存サポーターあるいは学区諸団体からの紹介を条件としている。</p> <p>④トラブル対応の意識が弱いのでは？ 事故（作業中、車で移動中）による賠償については、当該依頼者より、「保険金（ボランティア活動保険、自動車保険、）以上の賠償請求は、しない」との念書を取り付けている。 また、屋内作業については、原則2名体制（万一の場合の証人確保）としている。 その他のトラブル（サポートの出来栄え、人間関係等）も含めて、万一の場合は、事務局が前面に立ち解決に当たることとした。</p> <p>⑤関係法令の確認 労働者派遣法・・・当隊とサポーターの間には雇用関係がなく、本法律は適用なし。 道路運送法・・・車による移送を伴う場合も「主たる目的が（付添）である限り、本法律は、適用されない」（国交省・岡山事務所確認済み）</p>

<p>○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等 (右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。)</p> <p>・上記助言及び意見は、いずれもごもつともな指摘でありました。 ご指摘の各項につき、理事会で議論、上述のとおり、取組を強化いたしました。</p>	<p>助言等の内容について、 事業へ反映できましたか。</p> <p>① できた Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった</p>
--	--

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
富山学区連合町内会	運営(理事長) 広報(チラシ, MGシート等の回覧・配布に協力) 町内会長会議での説明機会提供
富山学区社会福祉協議会	運営(理事、事務局) 広報(チラシ作成) 企画(チラシ作成)
富山学区愛育員会	運営(コーディネーター、会計)、 広報(パワーポイント作成) とみやま助け合い隊活動ニュース編集
富山学区婦人会	運営(理事、コーディネーター)、 広報
富山学区老人クラブ連合会	運営(理事)、 広報(チラシ配布、説明機会の提供)
富山学区栄養改善協議会	運営(理事、コーディネーター)、広報、 サポーター紹介
富山地区民生委員児童委員協議会	運営(理事、コーディネーター)、 広報(各担当の高齢者等にチラシ配布)
とみやま文化まつり実行委員会	広報(関係資料・ポスター展示に協力)
特別養護老人ホーム 恵風荘	ケアマネージャーが担当先に支援を勧奨、 案件紹介
オレンジカフェ 青春	広報(定例会で説明機会を提供)
岡山市立富山公民館	運営(サポーター用グッズ預かり)、企画
岡山市社会福祉協議会	企画、広報用チラシ作成
岡山市中区保健センター	企画
岡山市介護予防センター	企画
岡山市包括支援センター	企画、担当先に支援を勧奨

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
令和元年 4月 4日	理事会開催 30年度決算、令和元年度予算原案審議 4月度 コーディネーター会議開催 会計監査
令和元年 5月 14日	定期総会開催
令和元年 6月 6日	6月度 コーディネーター会議開催 福泊かぼちゃ会に出席、助け合い隊について説明。
21日	臨時コーディネーター会議(サポーター研修会の打ち合わせ)
23日	令和元年度 第1回サポーター会議(研修会)開催
27日	第2回サポーター会議(研修会)開催
30日	理事会開催
令和元年 8月 1日	8月度 コーディネーター会議開催 理事会開催
令和元年 10月 1日	10月度 コーディネーター会議開催 とみやま文化まつり・展示発表(富山小体育館会場)
10月 26日	
～ 27日	{オレンジカフェ青春}定例会に出席。とみやま助け合い隊・説明。
令和元年 11月 2日	中区連合町内会懇談会(於:中区役所)
9日	「とみやま助け合い隊」について発表 理事会開催
令和元年 12月 5日	12月度 コーディネーター会議 とみやま助け合い隊活動ニュース第1号発行(A3、二つ折り、全戸配布)
令和2年 2月 1日	理事会開催
2月 6日	2月度 コーディネーター会議開催 岡山市連合町内会懇談会(於:灘崎文化ホール)にて、
2月 9日	「とみやま助け合い隊」について発表 第4回【おかやま協働のまちづくり賞】表彰式に出席(入賞)
2月 23日	3月度 コーディネーター会議は、中止した。
令和2年 3月	(コロナウイルス対応)

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
岡山市補助金	188,800	129,700	162,243×80% (100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	7,200	2,423	
参加者負担金	0	0	
協賛金	20,000	0	
寄付、他収入 (広告掲載料、賞金)	10,000	20,000	広告掲載料20,000
事務手数料	10,000	10,120	
計	236,000	162,243	

◆ 支 出 (詳細は、添付明細のとおり)

単位:円

費 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	94,000	67,764	住宅地図16,200 MGシート30,300 プリンターインク9,136他
②食糧費	21,000	4,043	サポーター研修会 お茶4,043
③印刷製本費	51,000	21,530	サポーター研修会議資料、マニュアル 等印刷代2,300 助け合い隊活動 ニュース印刷代18,990他
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	46,000	44,356	ハガキ代サポーター会議案内3,150 年賀はがき4,340 電話代35,426他
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料	0	3,000	ニュース編集3,000
⑫工事請負費			
⑬報償費	6,000	0	
⑭保険料	18,000	21,550	福祉サービス総合保険5,800 ボランティア活動保険15,750
⑮旅費			
⑯その他			
計	236,000	162,243	

※様式に入力される場合は、収入・支出欄は、エクセルのワークシートになっています。欄の上でダブルクリックして、ワークシートを表示させてから入力してください。